

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和8年2月10日

米子市議会議長様

会派名 蒼生会
代表者氏名 稲田 清
提出者氏名 稲田 清



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	稲田清、奥岩浩基、塚田佳充、渡辺 穰爾
期日	令和8年2月4日～5日
[概要] (年月日・場所・内容)	・2月5日(木) 午前9時30分～午前11時 千葉市立郷土博物館 「千葉開府900年に伴うリニューアル展示」について ・2月5日(木) 午後2時～午後3時30分 成田空港ターミナル 「地域との連携」について
[目的] [視察概要] [本市の事業に参考となる点]	別紙のとおり
経費	旅費 211,230円 土産代 5,400円 タクシー代 3,000円 合計219,630円

【視察等年月日・場所・内容】

- ・視察年月日：令和8年2月5日（木）午前9時30分から午前11時まで
- ・視察場所：千葉市立郷土博物館（千葉市中央区亥鼻1丁目6-1）
- ・視察内容：「千葉開府900年に伴うリニューアル展示」について

1. 視察目的

郷土の歴史や文化を保存・活用および市民への広報について調査するため

2. 視察概要

1126年（大治元年）、平常重（つねしげ）が大椎（現在の千葉市緑区）から現在の亥鼻付近（中央区）に本拠を移したことにより、千葉のまちの繁栄が始まったとされ、そこから数えて2026年が900年目となることを記念し、千葉市立郷土博物館がリニューアルされた。（事業費は、2箇年で約3億円）建物は5階建て、外観は城（免震構造の鉄筋コンクリート製）となっており5階は千葉市内の全域が眺望でき、4階は原始・古代（旧石器時代から平安時代まで）、3階は中世（鎌倉時代から安土桃山時代まで）、2階は近世（江戸時代から現在まで）のその時代に即した展示物があり、1階は企画展示のスペースとなっている。4階では縄文から古墳時代の土器等の出土品の展示、3階では千葉市の語源となった「千葉氏」の生い立ちの展示、2階では江戸時代において海運業が栄華をもたらした展示に目を引くものがあった。建物は昭和42年の完成から約60年が経過しているが、今回、内装をリニューアルしたことにより、郷土の歴史を誰にでも分かり易く、また、興味をもってもらえるものに変えることができ、開府900年に関する記念事業と相俟って、市内外の方がより千葉市の歴史を認識してもらえる期待を説かれた。

3. 視察（説明）要旨に対する議員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

米子市にも歴史を展示する施設はあるが、それぞれが独立して地理的に離れた場所にあるため、短い時間で回遊して見聞を深めることは難しいと考える。また、千葉市は旧石器時代から現代までが一気通貫で展示してあるが、米子市は各施設の展示物の紹介はあるが、米子市および旧淀江町全体の全体を包含した紹介の仕様ではなく、来館者自らが事前に情報収集しなければ、展示品の真の価値に触れることは難しいと考える。また、米子市埋蔵文化財センターには多くの埋蔵品があるが、それらが所謂「山積み」の状態であり、今後の仕分け等の作業の進展が待たれるところである。本市においても、各展示館および埋蔵文化センターの所蔵品について、総括的なまとめを行い、歴史に興味のある方へは勿論のこと、これから郷土の歴史を学ぶ人にとって、分かり易い展示と情報発信の在り方について、調査・研究を重ねる必要性を強く感じた。

【視察等年月日・場所・内容】

- ・視察年月日：令和8年2月5日（木）午後2時から午後3時30分まで
- ・視察場所：成田空港ターミナル内
- ・視察内容：地域との連携について

1. 視察目的

インバウンド需要の取り込みとエアポートシティ構想について調査するため

2. 視察概要

成田空港は1978年に新東京国際空港として開港（2004年には成田国際空港に改称）し、国際線旅客数は2024年において日本一である。また、航空需要の増大に対応し国際競争力を強化するため、現在の滑走路の延長と新たな滑走路の整備が行われており、年間発着回数を現在の約30万回から50万回に増やす計画が進められている。このように、航空需要が現在も旺盛で、かつ、今後の増大が予想される中、インバウンド需要に対して、地元（千葉県）での消費へ結びついていない現状がある。具体的には、インバウンド観光において、全国47都道府県を比較した順位が、訪問率は3位、延べ宿泊者数は8位であるが、旅行消費単価は46位となっている。すなわち、外国人観光客の宿泊は伴うものの、観光地への訪問および物品購入の機会が少ないという結果が示されている。この状況に対し、空港を中心に一体的・持続的に発展していくことを目的とした「エアポートシティ構想」を立ち上げ、その取り組みの一つとして「成田国際空港インバウンド誘致促進イベント」を開催し、近隣市町村が結集し地域製品の試食や日本文化体験で千葉の魅力をPRが行われているところであった。

3. 視察（説明）要旨に対する議員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

インバウンド需要の伸展に伴い、空港利用者数が増すことは容易に想像できたが、今回視察した成田市（千葉県）において、観光客としての利用先となっていない点は想像できなかった。旅行消費単価が全国46位（奈良県も同額で、実質的には最下位。鳥取県は25位）は驚きであり、相当な挺入れ策が求められるところだが、実際には地道に情報発信することが最善策であろうとの見解であった。訪日観光客一人当たりであるので、そもそもの規模の違いがあるので、総額で集計した場合、別の結果もあり得るが、いずれにしても米子市においてはインバウンドによる宿泊者数は公表されるようになったものの、実際にどのくらいの宿泊費および旅行消費単価であるのかの調査が行われていないと思える。今回の視察でも示されたが、インバウンド産業は自動車産業に次ぐものであり、それを裏付けるが如く、成田空港は発着回数を約1.7倍に伸ばす計画が既にあることから、米子市がインバウンド需要を取り込む施策への更なる強化の必要性を非常に強く感じた。

旅費計算表

令和8年2月4日 ~ 令和8年2月5日 (1泊2日)

東京都 蒼生会 会派視察

月 日	区 間	鉄道路線名	区 間 キ ロ 数	目的地まで のキロ数	運 賃	グリー ン	急 行 料 金		宿 泊 手 当 宿 泊 費		
							特 別	新 幹 線	(朝夕食付き)	千葉県	
2/4	米子空港 ~ 羽田空港	ANA	776.0		36,620				800	9,490	
(水)	羽田空港 ~ 品川	京急	14.5		327						
	品川 ~ 千葉	JR	46.0		824						
2/5	千葉 ~ 成田空港	JR	39.0		682						
(木)	成田空港 ~ 品川	JR	86.0		1,520		1,730				
	品川 ~ 羽田空港	京急	20.7		327						
	羽田空港 ~ 米子空港	ANA	776.0		往復						
計	議員旅費			52,320	40,300	0	1,730	0	800	9,490	0
	随行旅費			0							

出席議員 稲田議員、渡辺議員、塚田議員、奥岩議員

議員旅費 52,320 × 4名 = 209,280 円

土産代 5,400 5,400 円

タクシー代 3,000 3,000 円

① 217,680 円

自宅～米子空港までの自家用10km×25円×2= 500 円(稲田議員:片道10km)

自宅～米子空港までの自家用18km×25円×2= 900 円(奥岩議員:片道18km)

自宅～米子空港までの自家用8km×25円×2= 400 円(塚田議員:片道8m)

自宅～米子空港までの自家用3km×25円×2= 150 円(渡辺議員:片道3km)

② 1,950 円

合計 219,630 円